令和８年度　小樽市立高島小学校　学力向上改善プラン

１　児童の実態

・２学期末チャレンジテストの平均正答率は50%であり、目標値を達成することができなかった。国語科は３年生39%、４年生36%、５年生34%、６年生37%の結果であり、問題文の意図を把握できない児童が多いと考えられる。
・算数科の授業の前段に四則計算ドリルに取り組み、１年生(８割)、２年生（８割）、３年生（かけ算、わり算７割）、４年生(７割)、５年生（６割)、６年生（６割）という結果であった。
・児童アンケートでは低学年において家庭学習を 30 分以上行っている児童は36%、中学年において 40 分以上行っている児童は54%、高学年において 60 分以上行っている児童は14%であり、各学年家庭学習をしない児童が数名いる。

２　学年ごとの定着目標（数値目標）

＜国語科＞

学年	定着目標
全学年	・チャレンジテストでの平均正答率を６５%以上 ・学年ごとの鬼漢字テスト（高島小独自）正答率１，２年８割以上、３年生以上７割以上 ・チャレンジテストの誤答に取り組む児童を 100% ・鬼漢字テストの誤答に取り組む児童を 100%

＜算数科＞

学年	定着目標
全学年	・チャレンジテストでの平均正答率を５０%以上
１年	・くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算ができる。（定着９割）
２年	・九九を正確にすらすら言うことができる。（定着８割）
３年	・かけ算の筆算（２・３位数×２位数）やわり算ができる。（定着７割）
４年	・四則計算の基本が分かり、わり算の筆算ができる。（定着７割）
５年	・小数のかけ算、わり算、異分母分数のたし算、ひき算ができる。（定着７割）
６年	・小数のかけ算、わり算、分数のかけ算、わり算ができる。（定着７割）

＜学習・生活習慣（家庭学習等）＞

学年	定着目標
全学年	・学校評価アンケート児童アンケートで「家庭学習をする」について、１００%の回答とする。

３　目標を達成するための具体的な方策

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組
①全国学力・学習状況調査、標準学力調査、チャレンジテストなどによる学力の定着状況の把握
②算数科における少人数指導・習熟度別指導の充実やＩＣＴ機器を効果的に活用した授業改善
③「たからじまタイム（朝学習）」や「ニコニコ教室（放課後・長期休業中）」等、基礎・基本の定着に向けた時間の設定

（２）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組
①各学級の授業公開等、授業研究を中心に位置づけた一人一人の教職員の指導力を高める校内研修
②各種研修会への積極的参加・環流による一人一人の教師力の向上

（３）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組
①「一目でわかる高島小（学習規律・学習訓練）」の徹底・定着
②継続した宿題及び家庭学習の手引きやHPを活用した学習習慣の確立
③「情報モラル教室」の開催、「スマート７」「高島小スマート１（ONE）」の取組や生活リズムチェックシートの活用による家庭と連携した生活習慣の確立
④北陵中学校区で実施する家庭学習週間の徹底

４　実施計画

年月日	計　画　内　容
R8年４月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施 ・チャレンジテスト（前年度問題）の実施 ○Ｒ８全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査　自己採点
	○標準学力調査実施（第３学年・第５学年）
	・１学期の授業改善
５月	○標準学力調査結果分析
６月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施
７月	・チャレンジテスト（１学期末問題）の実施
８月	・夏季休業中におけるニコニコ教室開催
	○Ｒ８全国学力・学習状況調査結果分析
９月	・校内で結果・課題の共有、改善方策 ・２学期の授業改善
	○保護者への調査結果の説明
１０月	○学力向上改善プランの評価・改善
１１月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
１２月	・各調査過去問題の実施、結果分析① ・チャレンジテスト（２学期末問題）の実施 ・冬季休業中におけるニコニコ教室開催
R9年１月	・校内研究のまとめ、次年度への方向付け
２月	・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施
３月	・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施
	○新学力向上改善プランの作成

５　評価方法

（１）
①「全国学力・学習状況調査」「標準学力調査」「チャレンジテスト」の結果分析
②算数科における見取りや単元テスト、計算ドリルなどによる評価と分析及び定着確認テスト等の結果分析
③ニコニコ教室の参加児童の取組状況の検証

（２）
①研究授業等を通した目指す子ども像に向けての校内研究による検証
②各種研修会へ年５回以上の研修講座等への参加と校内研究での報告を年３回実施

（３）
①学習規律に関する項目の児童アンケート及び職員評価等の結果分析
②④家庭学習実施率の児童アンケートによる分析
③保護者対象の「情報モラル教室」開催・「スマート７」「高島小スマート１（ONE）」についての保護者アンケート分析